

ZOOM併用ハイブリッド会議

かならず会えるその日まで

「With コロナ時代」の同窓会活動。理事会を「ハイブリッド方式」オンラインで開催

世界中を揺るがしている新型コロナウイルス感染症は収まらず、終息にはほど遠い状況です。「GOTOキャンペーン」が始まった日本でも油断できない局面が続く「with コロナ」の対応を余儀なくされています。

静中・静高関東同窓会も時代にふさわしい活動を模索しております。前号会報(89号)でお知らせしましたように、今年7月の総会・懇親会は中止に追い込まれましたが、決算・予算・事業計画などは会報書面で提案し、承認されました。来年2月の各期幹事会・懇親会も中止の予定です(詳細は2頁)。同窓生の絆を結ぶ会として好評の異業種交流会(ブツフェ形式)も3回にわたり先送りとなりました(3頁ご参照)。

帰宅が間に合わない方にも、プレスセンターは大変便利



これらの判断は10月14日の理事会で決定されましたが、理事会や役員会は日本プレスセンター会場参加とZoom参加の両方から選択できるハイブリッド方式で開催しております。こうした中、会報は同窓生を結ぶ貴重なツールとなります。今号も多く原稿や写真を寄稿していただきました。

新型コロナウイルスが世界中に蔓延して8ヶ月程が過ぎました。私達はかつて誰も想像した事のない、このウイルスが引き起こす社会現象の中で苦しく鬱陶しい日々を送っています。

「社会の変容は常に人知を越えてやってくる」と言った人がおりましたが、今まさに私達はそれと地球規模で実感しているところなのでしょう。また一方でこのウイルスへの対応から「今まで当たり前のこととして行ってきた日常の営為」が実は不要不急の典型パターンであったり、「やらなくとも充分生活していけるものを情性でやり続けて来た事」に気がついたり、と日々の日常生活や社会全体の在り方がこれを機に激しく問

新しい幹事体制
4〜5頁

三浦孝一先生と三浦環リモート合奏に挑戦
6頁

小さな山寺の劇場 8頁 音楽のある風景
7頁

もし江川卓が静高野球部に来ていたら
9頁

適切な距離を保つ応援
10頁

東京駅を守る
11頁

「わたしと俳句」
11頁

コロナと向き合う
13頁

たかが同窓会②
13頁

同期会新時代
14頁

画廊古書店を開業
15頁

(次頁上段に続く)

静中・静高 関東同窓会 会報

静中・静高関東同窓会
会報 第90号
2020年12月1日発行
編集人 八牧浩行 (82期)



目次	
4〜5頁	新しい幹事体制
6頁	三浦孝一先生と三浦環リモート合奏に挑戦
7頁	小さな山寺の劇場 8頁 音楽のある風景
9頁	もし江川卓が静高野球部に来ていたら
10頁	適切な距離を保つ応援
11頁	東京駅を守る
11頁	「わたしと俳句」
13頁	コロナと向き合う
13頁	たかが同窓会②
14頁	同期会新時代
15頁	画廊古書店を開業

静高関東同窓会は 「八面玲瓏」に 会長 杉山 順一

われらにもなりました。そんな中、今年度の静高同窓会は本部も関東支部も従来型の総会が出来ませんでした。総会が決めるべき議案は「本部は人数限定のミニ総会」で、「関東は会報を活用しての合意形成」でそれぞれ必要議案のご承認をいただいたのですが、恒例の懇親会は共に中止となり皆様と唱う「岳南健児」の大合唱は次年度へ先送りとなりました。準備してきた幹事期の皆様、この日を楽しみにしていた同窓生の皆様方、さぞや落胆されたのでは、

こうした社会の変化の中、関東同窓会執行部は9月2日の役員会、10月14日の理事会で全国の同窓会会合に先駆けて、初の「会場(日本プレスセンター)参加」と「リモート参加」を組み合わせたいハイブリッド方式による会議を実施致しました。

久し振りに接する役員各位の笑顔や元気な声を伺い、心から安堵致しました。「終わってからの楽しいビールタイム」は暫くお預けですが、何とか同窓会の絆は保たれたのでは、と思っております。ハイブリッド会議をご設置いただいた皆様、またご出席いただいた理事各位の皆様、それぞれのお立場でのご協力に改めて御礼申し上げます。

さてこれからの同窓会は一体どんな姿になって行くのでしょうか。

もちろんコロナ禍が完全に沈静化すればよいのですが暫くはこのやっかいなウイルスと共存？しながら動き始めつつある新しい社会の姿に見合った同窓会活動を再構築して行くことになるのでしょうか。とは言え何せ「集まること」が主題の同窓会ですので、その「集まること」にかなりの制約が掛かって来る以上今後の活動は「制約下での集まりの楽しみ方」と「同窓会本来の絆の在り方」をどう融合していくか、に掛かってきます。

具体的に言えば「無理の無い範囲での対面での交誼の場作り」と「初めての人も操作が不得手の人もまずはリモート連携になれていただく」ことになるかと思えます。

この「対面とリモートの融合

した形作り」こそが、これからの同窓会の柱になるかと思えますので皆様方の御智結集をお願い申し上げます。

ところで私達静高の校歌には「八面玲瓏」の四文字が記されています。中国の古典からの出典と伺っておりますが言葉の意味は「四方八方美しく透き通っている様」だと言う事は皆様もよくご存じかと思えます。しかし字句の解説をよく読むと本来意味するところは「誰かれ区別なく円満に交際すること」とありました。

この歌詞を選ばれた先人は本



広めの会議室で3密回避。この日は出席21名、うちZoom利用は18名。モバイル端末の利用で参加方法も多様になりました。

校の生徒達が日々学ぶ事への姿勢の在り方を示すと同時に卒業後の同窓会の本義を四文字でしっかりと示してくれました。改めてこの言葉を私達後輩に残してくれた先人の遠因に深い敬意と感謝を感じるところです。

しかしながら同窓会の運営は今、大変難しい局面にあります。どうぞこれからも「同じ釜の飯を食べたと言う不思議な縁」を大事にしながら関東の地での静高同窓会の発展に、皆様と一緒に尽くす事ができれば、と思っておりますので、引き続きましてのご支援を重ねてお願い申し上げます。

◆来年2月に開催を予定していた「各期幹事会（冬の総会）」中止のお知らせ

今年度総会行事については、残念ながら来年度に延期されましたが、関東同窓会の行事には、各期幹事会（通称、冬の総会）もあり、コロナウイルス終息の際には、総会懇親会に代わる懇親の場が持てるように会場費等の予算処置をしておりました。

しかしながら、秋になっても状況は大きく変わらず、十月十四日の理事会にて、まだ開催の時期ではないとのご意見をいただき、残念ながら、今期総会に代わる懇親会としての実施も含め同窓が多く集まる今期各期幹事会を中止を決定いたしました。本会を楽しみにされていた皆様、大変申し訳ありませんが、来年度に内容を充実させていただき、その際にお会いできることを楽しみにしております。

また、前回の各期幹事会では、こちらからの呼びかけを通じて、メールアドレスの登録等でより多くの同窓の皆様とご連絡できる体制を作りつつあります。

そうした背景の中で、各期幹事の皆様とその第一歩となる新生各期幹事会の開催となる予定でしたため、今回の中止は、残念です。来年度以降は、冬の総会という別名にふさわしいように、単なる懇親会だけでなく、関東同窓会の活動へのご理解や各期の幹事としてのご活動をフォローアップする場として内容を改善していきたいと考えております。各期幹事会に参加していただくことで、各期幹事の皆様はもとより、同窓の皆様が、関東同窓会に触れていただける

◆原稿・写真を募集します！

静中・静高関東同窓会の本会報（年2回＝5月、12月発行）とホームページ（随時更新）は同窓生と関係者が行き来する「情報広場」「ニュース交差点」です。関東での同窓生参加イベント、同窓生の活躍ぶり、エッセーなど、お気軽に投稿してください。

会報Eメール添付で左記のメールアドレスにお送りください。郵送の場合は同窓会事務局宛にお願いします。

yanrak@reordhina.co.jp
(八牧)

ホームページ「静中・静高関東同窓会」トップページ「お問い合わせ」→「投稿ページ」を開き、投稿フォームに入力してください。

各期幹事会の今後について

各期幹事におかれましては、本会報にあるように、各期幹事

よう更なる工夫を続けてまいります。

来年度は今年度の分も合わせて、より盛大な冬の総会になるよう企画しますので、何卒よろしくお願いたします。

(副会長 94期・栗原千朗)



各期幹事会は各期が交流。ゆつくりと情報交換できるチャンスです。(昨年度の各期幹事会アルバムより)

◆二〇二〇年度総会議事

会報告知後にご意見なく、役員会および理事会にて確認後、正式に成立しました

今年度の総会の延期に伴い、二〇二〇年度の総会議事について、前会報にて次の二議事を掲載し、パブリックコメント期間として二〇二〇年七月末日を期限にて、会員の皆様のご意見をお待ちしております。

第一号議事

二〇一九年度事業報告・収支決算報告・監査報告

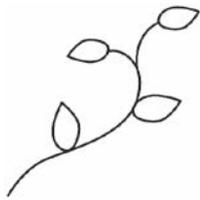
第二号議事

二〇二〇年度事業計画・収支予算報告

まず、前回会報での告知後、二議事とも関東同窓会へのメールや同窓会事務局へのご質問等いただいていたことをご報告させていただきます。

その事実に基づき、十月の関東同窓会役員会と理事会で、説明させていただき、両議事とも成立いたしましたので、ご報告させていただきます。なお、本議事は定時総会延期による緊急対応であることを十分に理解し、今後の予算執行に関しましては、本予算と事業計画に基づき、責任をもって運営させていただきます。と思います。

(副会長 94期・栗原千朗)



幻の第26回・第27回「異業種交流会」

新しいビジネスモデルを求めて

理事 89期 笠松 一久

4月17日 金曜日

(J事務局 ABC会員さん)

J 「2月から日本にコロナが上陸し、猛威をふるい始めました。」

A 「大変な事になりましたな。」

J 「世界が変わっていくことになりました。今までの事が今までの通りとは。」

A 「平衡状態 equilibrium から、散逸構造 dissipative structure に遷移ですか」

J 「もう元に戻ることはないとも?」

A 「ノーリターン。戻れない。」

J 「終息の見込みはどうでしょう」

A 「誰もわからない。」

J 「イリヤ・プリゴジン先生でも?」

10月23日 金曜日

J 「コロナも、ついに蔓延期になりました、いつ終息するやら」

B 「11月〜来年2月迄、感染拡大の噂も。欧州ではもう拡大し始めた。」

J 「取引先も、淡路島に本社機能を移転とか言っております。」

B 「でも出社しないなら、どこでもいいのでは? 本社機構はアウトソーシングで十分かも。」

J 「経済はどうなっちゃうのでしょうか」

B 「第一に企業は固定費(人件費・ガス・水道電気代)の削減でしょう。」

J 「そういえば『固定費削減と除菌システムビジネスモデル』が好評で、当社では医療法人・社会福祉法人等で検討が進んでおりますよ。」

B 「その時々々の革新的ビジネスモデルで、生き残り企業・日本。世界の様が変わっていきますね。」

追伸

J 「来年1月の第28回異業種交流会も残念ながらこのような推移により事態は好転せず、中止といたします。」

C 「やむをえませんね。そういえばSBIHさんが、地銀さん10行に対し Strategic business innovator 戦略を実行し、東和さんが最初に名乗りを挙げました。新しい日本の夜明けですな。」

新しい幹事体制です

会長が交代し新体制となって初めて、幹事の見直しを行いました。静中・静高同窓会の支部の一つである関東同窓会は、その前身から数えると45年になりますが、幹事の欠を問う定期会議は無く、また例年開催している各期幹事会も冬の総会の通称があるので、幹事であるかそうでないかは曖昧なものとなっております。一方で、関東同窓会がこれまで活発な活動が持続されてきておりますのは、いつも各期のお世話をしていた方々のおかげです。今回の幹事リスト(次頁掲載)は、現在ご活躍の幹事役の方々に継続していただき、さらに新たな人材を結集し、より実働的なものとなりました。

若干の若返り

今回の見直しは、昨年6月まで旧ホームページにて公開されていた幹事リストから変更する方法としました。理事の方々、各期の代表者、または各位に確認を行いました。登録が漏れていた方、逆に幹事になった覚えのない方など多々ありました。失礼をお詫びしたいと存じます。また、殆どの方が総会の当番幹事を経験済みの期に偏って

おりましたので、約80年以上の年齢(卒業期)幅となる当会自慢のその構成に見合った幹事体制を考慮しました。ご縁があった若年期の方々にご相談させていただき、幹事就任をお願いしました。お引き受け下さった方々には、あらためて御礼申し上げます。今後共、末永いおつきあいをよろしくお願いいたします。また、創成期から長きに亘りお力を注いでくださった多くの方々が様々な理由でご辞退を選択されました。これまで大変お世話になりました。この場を借りまして厚く御礼申し上げます。今後も会報等を通じて、活動を見守ってくださいますようよろしくお願ひ申し上げます。

- ・ 辞退 50名(死亡による退会や誤登録含む)
- ・ 継続 77名
- ・ 新規 38名(登録漏れ含む)
- 合計 115名(12名減)
- 平均年齢 73歳↓64歳

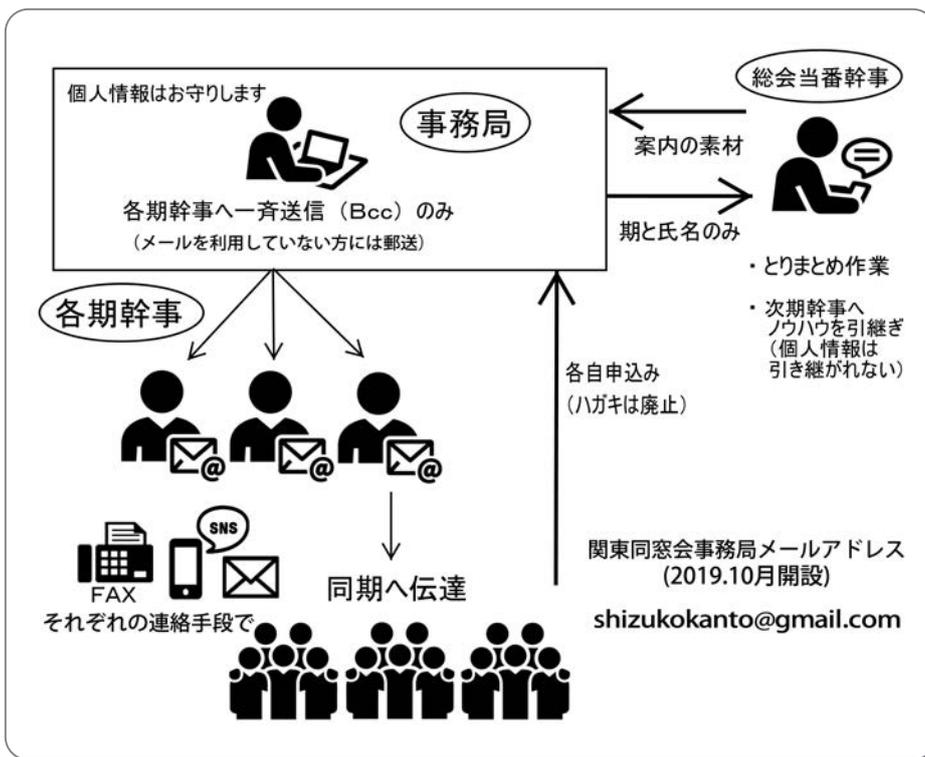
約10名の方が未回答であり、変更なしとして、そのままとなっております。この表をご覧になって、変更が必要な方は、事務局までご一報いただければ修正をいたします。

負担が一極集中しないように

幹事システムの根本は、特定

の会員(総会幹事、各期幹事)に負担が集中することなく、細く長く快適に参加していくことを目指すものです。総会の当番幹事期は、その動員数のノルマは無いと引き継がれながらも、やはり暗黙のプレッシャーはあるものです。故郷静岡を離れ関東に生活基盤があり、静岡OBと遭遇する機会は皆無という方も多いでしょう。

特に若年層に対しては、活動に参加してもなかなかご縁がなく、開拓ができず限界があります。今後は、事務局が中継して当番幹事のサポートを担い、各期幹事のお力を借りて同期への情報伝達、声掛け、共に参加という流れを作ります。これまでも身近に感じられなかった方が一人でも多く参加して下さることを期待すると同時に、中長期



的な視点で安定した基盤維持のために、皆様にはこの各期幹事システムへのご理解をお願いいたします。

情報の流れ(通常型の例)

- 1、総会幹事期は、案内テキスト・メール起動のQRコード、チラシの画像などを事務局に提供。
- 2、事務局は、そのまま幹事に流します。
- 3、幹事は、それぞれの連絡手段で同期ネットワークに情報宣します。
- 4、各自で申し込みます。本部の大規模な総会懇親会のようなチケット割当てがありませんので、幹事による人数とりまとめは不要です(これまで代表者がまとめて申し込んでいた期は、これまで通り、その方がご連絡してくださいませません)。
- 5、事務局から総会幹事へ、メールアドレス等の個人情報を省いた情報(期と氏名)を転送します。
- 6、総会幹事は、受付リストや名札を完備します。また当日参加を見越した資料数・料理発注数などを確定し、受け入れ体制を整えます。

このシステムは、昨冬の各期幹事会(冬の総会)で一部試行をしました。多くの方が会報で

関東同窓会・各期幹事

55期	法月重雄	
57期	影島利邦	
64期	野澤正憲	新
66期	原野谷朋司	
68期	荒谷じつ子	
"	吉崎英輔	
69期	宮崎吉英	
71期	浦田彰	
"	後藤弘枝	
72期	佐藤紘一	
73期	山梨由記	
74期	望月保	
75期	井出辰一郎	
"	今田肇	
"	佐藤修二	新
76期	酒井孝太郎	
"	鈴木浩	
77期	岩崎敏宏	
"	栗田收司	
"	清水雅尚	
"	野方重人	
79期	上田尚亮	
"	小川郷太郎	
"	野口政明	
"	野村公美	新
"	山本勝	新
81期	本多英一	
82期	青木弼	
"	秋山好	
"	遠藤良治	
"	多賀谷秀保	
"	田畑秀典	
"	八牧浩行	
83期	久野淑子	
"	鈴木秀孝	
"	中村豊	
"	西野直樹	
84期	大隈恵子	
"	杉山順一	
"	吹井承三	
"	松島勤	
85期	池田幸司	
"	石黒和紀	
"	杉山由紀子	
"	竹田徹	
"	増井喜一郎	
86期	長島正	
"	成岡和美	
"	野口洋亮	
"	野口ひろみ	
87期	石川嘉和	
"	高橋宏	
88期	江間彰夫	
"	片山秀	
"	谷口ひとみ	
"	松村淳子	新

89期	笠松一久	
"	鳥巢修	
"	新村暢宏	
"	牧野尚夫	
90期	深沢英昭	
"	米澤宣行	新
91期	倉沢千明	
"	小橋友規子	
"	鈴木宏	
"	野呂伸一郎	
"	藤嶋善彦	
92期	日下淳	
"	清水篤	新
"	服部泰子	
"	山野直文	
93期	相田頼子	
"	阿部哲也	新
"	海野典夫	
"	勝又健次	
"	日比谷優子	新
"	宮島友子	新
94期	柴原千朗	
"	木村純子	新
95期	加藤光俊	新
"	菊入弘行	新
96期	大澤理	新
"	中尾安志	新
97期	内田雅彦	新
"	岡村浩志	新
"	清水智人	新
"	杉田太志	新
"	中沢京子	新
98期	見城寛	新
"	星野典子	新
99期	稲葉克哉	新
"	尾高泉	新
100期	恒光隆法	新
101期	漆畑裕樹	新
"	大石智子	新
"	白井正博	新
102期	渡辺兎生	新
103期	日下雄一郎	新
104期	瀬尾敦子	新
"	萩原さほり	新
106期	佐藤威一郎	新
"	新間香織	新
107期	小杉祥代	新
109期	小澤康裕	新
"	河田教吾	新
"	遠山兄太	新
111期	田邊義博	新
113期	小林努	新
114期	佐藤香菜子	新
"	杉山真純	新
119期	青山亮介	新
"	杓谷匠	新
120期	酒井優一	新
128期	多田舞樹	新
132期	金子真大	新

2020.11.1現在 115名

の呼びかけに反応してくださり、お蔭様で個人メール登録は400名超となりました(前号の報告参照)。今後も、幹事宛・個人宛のそれぞれで一斉送信させていただきます。

となりません。昔と比べて近年は、たとえ同期同士であっても慣れ合いで個人情報を提供できない社会となりました。

一方でSNSの浸透により、思いがけず同期と繋がることが出来る世の中になりましたので、早くからとりまとめに着手し、時間をかけることで、当番期が近づいた時に良いスタートダッシュが可能かと思えます。

また幹事リストに名前を掲載することで求心力が生まれ、まだ連絡を取れずに遠くからご覧になって居る方も、どなたかを辿って繋がるかもしれません。

関東同窓会を再会の場として利用していただきたいと存じます。もし、当面、連絡窓口として幹事を引き受けてくださる方がいらつしやいましたら事務局までご連絡ください。幹事の追加登録はいつでも可能です。

幹事不在の期について
表をご覧くださいとおわかりいただけると思いますが、幹事が不在の期があります。若年期については、本部総会の当番幹事期を見据えて、ネットワーク構築はこれからピークを迎えます。消息不明の同期が忘れた頃に見つかり名簿に追加していくという地味な名簿作業は、何かと時間がかかるものですが、その名簿の充実こそがスムーズに幹事期を乗り越えられるかの肝

となります。総会幹事期が近づくと、ぼちぼち様子見で参加する方が増えますが、同期が集まるだろうか、という不安はつきまといま

学年代表理事との連携
関東同窓会の前年に、本部での全体同窓会(11月)の当番期が巡ってきます(本部幹事の経験先行)。同期全体のネットワー

ハガキの廃止
この度、会報と同送していた出欠ハガキは廃止しました。個人情報保護が丸見えであり、保護シールの同封も検討しましたが採算が合わず、また日本郵政のゆうメール特約に切替えた折、ハガキは信書扱いであり同送不可という制約が決定打となりました。インターネットをご利用

にならぬ方は、FAXで通信をお願い致します。
「時代に伴走」とは、新しいものを取り入れながら、既存のユーザーをどう守るかということが課題となります。現在はメールで一斉送信をしていますが、五年後、十年後は変更せざるを得ないかも知れません。ただ、同窓会というその性質から、なるべく分断を回避するよう知恵を出し合い多様に対応していく必要があります。そのためにも各世代におかれるこの各期幹事の存在は、非常にありがたい大切なものとなります。どの世代も主人公であるような同窓会で在り続けますように。各世代からのお声をお待ちしております。(副会長 97期・中沢京子)

三浦孝一先生と三浦環

75期 川面忠男

音楽に癒される

NHKの朝ドラ「エール」で女優の柴咲コウさんが演じた三浦環のモデルが世界のプリマドンナだった三浦環であることは周知のことであろう。その環の夫であった三浦政太郎の甥が静岡高校で世界史を教えた三浦孝一先生だ。

2011年の75期総会に参加すると、三浦先生は85歳という高齢になられていたが、来賓として挨拶をされた。それまで面識は得ていなかったが、聞きたいことがあったので先生のテーブルに行き話しかけた。

まず自己紹介。「私は3年生の時に静岡に転校してきましたので先生は私のことをご存知ないと思います。そう話しかけると、先生はフム、フムといった表情を示した。続いて「先生は、中田駿郎をご存知ですね」

三浦環さん



と尋ねたところ、「よく知っていますよ」と答えた。それから

「私の妻は、駿郎の孫です」と言ったところ、先生はちょっと驚かれたようだった。駿郎は戦前、国会議員を務めたこともある弁護士であり、三浦先生も兄事することがあったようだ。

私は続けて質問した。「三浦環の夫だった三浦政太郎とはどういう関係になりますか」。先生は即座に答えた。「政太郎は父の兄です」。それで三浦先生が環の義理の甥であることが確認できた。

三浦政太郎と中田駿郎が従兄弟であることは知っていた。妻の2人の姉（故人）は女学生時代、常磐町にあった駿郎の家と一緒に暮らした。政太郎については次の姉から東大の医学部を出て医師をしていたと聞いていた。三浦先生に次姉のことを話すと、「あー、フサコさんね、よく知っていますよ」と言った。次姉は先生のことを「三浦のコーちゃん」と呼んでいた。

三浦先生は政太郎が亡くなった後も環に会っている。「よく憶えている」と言った。環が夫の死後も義理の甥である先生に会ったということは、亡夫に縁

ある者たちとのつきあいを続けていたということになる。

中田駿郎の妹、政子の嫁ぎ先が呉服町にあった魚安という旅館で孫が静岡80期の松浦正朗さんだ。政子が亡くなった時、正朗さんが出した法事の挨拶の手紙が残っており、それを読むと松浦家には三浦環の色紙が何枚か残されているとあった。三浦環が魚安に泊まった時に書いたものだ。

三浦先生には環についてもっと聞きたいと思っていた。瀬戸内寂聴の三浦環をモデルにした伝記小説『お蝶夫人』の内容について疑問があり、先生に聞いて質したかったからだ。妻の次姉が2012年の大晦日の夜、妻に電話をかけてきた。話しの合間に妻が「えー！」と言った。後で聞けば、三浦先生が亡くなったと聞いたのだった。もう先生から環のことが聞けなくなったと残念に思ったものだ。

三浦環と遠縁になる静岡の関係者は少なくない。三浦先生のご子息が静岡の三浦俊一先生（89期）だ。妻の次の姉の長男、次男は静岡の卒業生、上の姉の次男が教育学者の齋藤孝（95期）だ。かく言う私もその一人で朝ドラの「エール」は身近に感じて視聴した次第である。

コロナ禍の中でリモート合奏に挑戦する集団

78期 狩野 治之

西暦2020年。

新型コロナウイルスの脅威が世界中に拡がり、各国間移動や、都市間移動も制限される事態に陥った。静岡ハーモニカ関東OBバンドは、練習拠点を失い、集まることもままならず、Zoomミーティングを開催するも、2月以来、顔を見ることができないメンバーも存在する。

全メンバーが再び一堂に会し、合奏する日が訪れることを願って、「リモート合奏「今日の日はさようなら」を。

これは、当OBバンドがコロナ禍の中で成し遂げた新たな挑戦への記録です。

静岡ハーモニカ関東OBバンドは登録メンバー24人が2か月に1回の演奏（練習会）とその後の懇親会（飲み会）を楽しみに活動を続けてきました。

メンバー全員が60歳代と70歳代の、若さ溢れる、熟年と熟練年の集団です。

当バンドでは、2年に一度の静岡ハーモニカバンドOB会の総会（静岡で開催）で演奏する曲の練習を中心に活動を続けています。いわば身内を前にしての演奏です。

そんな中、OB会だけでなく、外部の聴衆の前でも演奏したいという気持ちが強くなり、昨年末には、毎年5月に開催される川崎ハーモニカ音楽祭に参加することを決めました。申し込み

手続きと選曲も終わり、音楽祭に向けて練習を始めた矢先に、新型コロナウイルスの発生に直面しました。練習に集まる事も出来ないまま、音楽祭そのものも中止になってしまいました。

それでも音楽祭デビューを楽しみにしていたメンバーは声を掛け合い、飯田早苗さん（80期）の発案で出演が予定されていた5月9日14:05に、プログラムの進行に合わせて4曲をそれぞれ自宅で演奏したのでした。全員での演奏をイメージしながら、自分のパートを演奏するという、前代未聞のことにチャレンジしたのでした。これがその後のオンラインミーティング・リモート合奏のきっかけになりました。

どうしたらこのコロナ禍の中で合奏を楽しめるか？いくつかの方法が検討され、試されまし

た。その結果、オンラインのミーティングの場で直接演奏を合わせるのには手持ちのパソコンや通信環境では難しいと分かり、各自の演奏動画を集めて編集する方法に挑戦することになりました。

鎌田勇さん（78期）が中心になって有志のメンバーで試行錯誤しながら出来上がったその方法は、

- 1、始めに、総譜を音楽ソフトで作成し、それをパソコン上で演奏させ、録音する。
- 2、メンバーには楽譜と、全体演奏とパート演奏の録音を音

源として配布する。

- 3、各自は、パートを練習した後、送られてきた音源をイヤホンで聞きながら、そのリズムに合わせて演奏し、パソコンで動画に自撮りし、幹事のもとへ送る。

4、集められた動画はパソコン上で編集され1曲の動画に仕上げられる。

画面には演奏者全員の演奏している姿が映されている。

これを実現するためのもう一つの課題は、Zoomによるオンラインミーティングへのアクセスでした。メンバー全員がパソコンやZoomに詳しいわけではないので、事前の準備が大変でした。一人ずつZoomへの接続を確認し、画面操作の仕方も覚えさせました。また、自撮りした演奏動画をオンラインで幹事のもとへ送ることも大変でした。

第1回のオンラインミーティングは7月4日に開催され、17名の参加が実現しました。そこで初めて有志メンバー4人による独奏と「荒城の月」の合奏が披露されました。さらに、メンバーの近況報告があった後、今後の進め方も話し合われ、リモート合奏の実現に向けて決意を新たにしました。

第2回ミーティングは8月8日に開催され、18人が参加し、

有志6人による「千の風に乗って」が披露されました。4人から6人へとメンバーを増やしても合奏はリズムの乱れもほとんどないまでに仕上がっていました。そこでまで仕上げるためには、各自が音源に沿って正確なリズムで演奏することが必要です。

途中で音を間違えたりつまずいたりしたら、また最初から取り直しをする。これを繰り返して、何十回と動画を撮り続けた人もいました。

また、ミーティングでは合奏披露に加え、大木昌さん（80期）による講演「川と文化」と題して天竜川の舟運と文化についての講演がありました。大木さんの大学でのフィールドワークに裏打ちされた研究の一端を見せてもらいました。

第3回目は10月10日に開催され、20人の参加がありました。

そこで初めてほぼ全員による「今日の日はさようなら」のリモート合奏が披露されました。8月に選曲が決まり、楽譜と音源が全員に配られ、各自練習の後に自撮りした動画を集め、編集したものです。ミーティング参加者全員が見つめる中、パソコン画面に映し出された前文「西暦2020年、・・・」（本稿最初に掲げたもの）から始まり、懐かしい旧静高校舎が映っ

た後、合奏が始まります。画面にはメンバー18人全員の姿が映しだされ、それぞれが自分のパートの演奏を通して合奏を楽しんでいる姿がよく分かります。やがて演奏も終わり、最後に演奏者名と演奏楽器が表示され、エンディング「See You Tomorrow」で終了します。

メンバー18人による合奏は音の厚みが増し、リズムの乱れが無く、期待以上の出来栄でした。オンラインでは通信環境やパソコンスピーカーの性能等で音質に限界はありましたが、ダウンロードして音楽専用のイヤホンやテレビにつないで聞くと、ほとんど生に近い演奏が聴けました。

続けて、有志メンバー6人による「Tomorrow」の演奏も披露されました。小編成による軽

快な楽しい曲で、見ていると分業しめる音楽に仕上がっていました。

リモート合奏に続いて、栗田収司さん（77期）による「小さな旅の物語 イタリア」と題して、10数年にわたる7回のイタリアの旅の紹介がありました。それは旅行代理店のツアーでは味わえない旅の魅力がいっぱい詰まったものでした。美味しいワインとブドウ畑、そしてイタリア料理。南のシシリー島から北のアルプスやドロミテ、チロル迄、イタリアの魅力が満載しているものでした。

今回は12月に「G線上のアリア」に挑戦することが決まりました。それまでに演奏にさらに磨きをかけ、表情豊かな合奏曲に仕上げたいと頑張っていると

披露されました。小編成による軽

小さな山寺の《かんのん劇場》

一流の技を間近で楽しもう

90期 見城 宗忠

私は縁あって1989年3月から、東京西郊の稲城市で小さな山寺、普門庵の住職を務めています。そして10年経って落ちていた頃、旧知の舞台女優のひとり語りを演目にして第1回《かんのん劇場》を立ち上げました。当初は企画運営のノウハ

ウも無く、何よりもお客さんが集まってくれるかがとても心配でしたが、回を重ねるごとに固定のファンもでき、またスタッフも増えてきました。もとより「地域の文化活動に貢献」と言うお題目を掲げたわけではありません。ただ私が観て聴いて

リモート合奏「今日の日はさようなら」



納得したものをみんなで楽しもうよ、と思っただけです。ですから演者には直接出演交渉をし、チラシもすべて手作りです。単なる場所貸しではなく、私自身が本当に好きだったから続けているのだと思います。

ジャンルはひとり芝居からラブ音楽、フラメンコ、バッハなど多岐にわたっていますが、何れもその道一筋に精進してこられた方ばかりです。沖繩のビリー・ホリデーといわれた島唄の至宝、大城美佐子さんの時は130名のお客さんと一緒に盛り上がりました。カーラジオで耳にしてから15年越しで、ようやく出演叶ったアルパ奏者のルシア塩満さんも印象深い方です。その中でも二胡奏者の許

大城美佐子さん



第29回かんのん劇場チラシ

可(シユイ・クウ)さんは、たびたび友情出演してくれま。文化大革命のさなかに育った彼は、30歳の頃に初来日して、初めて西洋音楽に触れ大変なカルチャーショックを受けました。そして二胡を中国の民族楽器から西洋のヴァイオリンに匹敵する楽器とすべく、奏法の研究と努力を重ねてきました。その結果、チェリストのヨーヨー・マに認められ、更にはベルリンフィルのメンバーとアンサンブルを組むなど、世界的な活躍をしています。

忘れがたい事がありました。東京フィルの首席チェリスト、渡邊辰紀さんにバッハの無伴奏組曲集を演奏してもらったときのことです。終演後、年配のご婦人から「これまでこのような素敵な世界があることを知らずに生きて来ました。これからバッハの世界に触れる楽しみが出来ました」とのお声を頂いたのです。生身の人間が鍛錬した技に目の前で触れる、これがラ

イブの持っている力だと改めて思ったものです。コロナ禍で続く過剰な自粛で失われてしまったものは、余りにも多すぎます。オンラインという新しい方法も模索されています。しかし同じ映画でも劇場で観ると、自宅の小さなディスプレイで見るとでは、その印象は全く違います。私自身、貧乏学生だった頃に食事や交通費を削ってでも出掛けたコンサートの数々はいまだに

心の糧となつています。記憶に残るか五感に染みこむか、これはやはり生の体験がもつ力だと思えます。今年29回目を迎える《かんのん劇場》ですが、許可さん唯一のコンサートとして通常開催します。お陰様でチケットは完売しました。100席に満たない小さな劇場ですが、一流の技を間近に楽しめるよう、できる限り劇場支配人を続けたいと願っております。

※29回も無事終了しました。(16頁広告)参照

音楽のある風景 スーパーBGM

90期 山下 雅子

『ご近所のスーパーに午前中の早い時間(7時)に出かけたところ、店内には珍しく「カヴァレリア・ルステイカーナ」が流れていました。店長の趣味でしようか。いつもなら元気が良い曲で『タタンタタタター』焼き芋が焼けたよ』という曲が流

れているのですが・・・この時間帯であれば密にならないのでゆっくりしてください!!と、購買促進用としての選曲かもしれませぬ。(笑) 出席します』と、コロナ禍の中、スタートする※ハモバンのオンラインクラブ活動の返事メールに記し送信した。(※静岡高校ハーモニカバンド卒業生の東京を中心に活動中の音楽クラブ「前掲6頁」)



カヴァレリア・ルステイカーナは、ハモバンで練習を

していた楽曲なので、この私でも舌を噛みそうな曲名がスラリと口から出る。また、曲名は知らなくとも、聞いたことがあるという方も多いはず。映画「ゴッドファーザー」の中でも使用されている、美しい旋律の曲だ。

Andante sostenuto J=54 たつぷりとゆつたりとしながらも、メロディーが駆け上るように続き、高音の響きと相まって、合奏していると、楽曲と一体となり、身体が天空に昇るような気持ちにもなる。いつも流れている曲・元気のよい曲とのギャップが面白かった。

そういえば勝手に記載したもう一つの迷曲、『タタンタタター』焼き芋が焼けたよ』本当は何という曲なのだろうかと、送信後、気になりネットで調べてみると、出自が判明した。そもそも、『焼き芋焼けたよ』という部分は、私の個人的な思い込みで、この音が流れている近くに焼き芋販売台が設置され、この曲が流れていると、焼き芋が出来上がっている場合が多いので、『お芋が焼けたよ』と勝手につけたものだ。

その音源は、実は「呼び込み君」というネーミングの小型機器から流されていて、焼き芋との関連はなかった。「タタンタタター」と聞き取っていたが、

静中・静高野球は永遠なり

もし江川卓投手が静高野球部に 来ていたら

79期野球部主将 上田 尚亮

ネットでは、「ポポーポポー」と紹介され、販売促進の秘密があるという。無限に続くかのような単純明快かつ快活なメロディーは、身体に浸みわたり、自然とウキウキとする。『お買い得感と購買力アップに期待され、店内の販促曲を何度も聴いていると、いつのまにか覚える「フリークエンシー効果」活用により、自然な商品認知などつながる。』私の場合、呼び込み君の曲イコール焼き芋と認知されていたというわけだ。

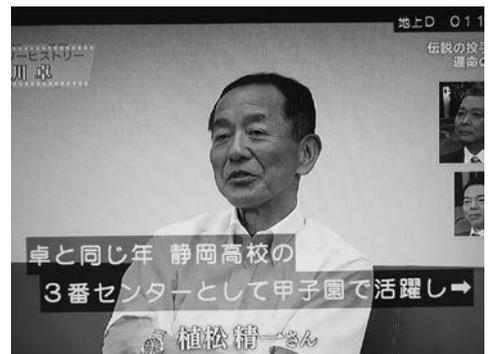
『人間は物事の印象や判断を

脳で決める。脳は過去の記憶や経験から、想起・判断させる機能を持つ。音楽で気持ちを高揚させるには「明るいい音色」「早めのリズム」「記憶に残りやすい」ことが重要だ。』という。時間帯・客層に分け、選曲することもある。というわけで、いつもなら行かない時間帯で、巡りあった『カヴァレリア・ルスティカーナ』は、『また、ちゃんと練習しなさい』と促される効果にも繋がった。

参照HP <https://www.fmn.jp/articles/-/10243>

野球部OBの酒席で、江川投手は静高に来ることに決まっていたという話が時々あります。佐久間中学出身の宮下繁雄投手は静高にきているしルートはあるんだから。静高に来ていたら・・・。

9月28日のNHKファミリーヒストリーに江川卓投手が出演していました。祖父の時代、新潟から福島のおわき市に移り、父親の時代に4歳で静岡県



NHK「ファミリーヒストリー」より

こと。その過程で阪神で活躍し、監督を勤めた岡田彰布三塁手を1年から使い育て上げた。彼は対江川で通算3割超えの打撃成績だったとのこと。その後、石山氏はプリンスホテルの監督を経て読売巨人軍球団編成本部長補佐兼二軍統括ディレクターに招聘されました。春季キャンプのブルペンでプロの投手を見たとき江川投手の大学時の球に比べ遅いと感じ、評論家としてキャンプに来た江川氏にそのこと話すと彼は笑っていたとのこと。野茂のフォークは凄いいけど真すぐでは江川の球の伸び、速さ、真ん中高めで三振を取れる点では江川投手が凄いと話しています。(日本選抜で世界選手権に監督で野茂たちを連れてキューバに行った)。

2年生の秋、小山市に移ると

き佐久間中学では引き留めがあり捕手の家に下宿することに決まり、江川本人もその気でいました。だが父親は大学進学に拘り、認めず、一緒に小山市に移りました。静高のほうが進学校と思っただが、残念！

適切な距離を保つ応援

岳南球友会員 94期 松永 啓

大正8年スペイン風邪猛威下で強さが顕著となる静中野球部は、百年前1920(大正9)年末にパンデミックを無事克服、12年間続く県内無敗を続け東海に躍進した。

だが、大正11年正月に新デザインの筆記体ユニフォームを晴れ着とした鈴木成次主将遊撃手が新春の練習試合中にデッドボールで急死するのだから悲劇

前述の佐久間中学出身で78期宮下繁雄投手は球の回転が良くコントロールのいい投手でした。同期には77期甲子園準優勝の大立て投手石田勝広投手がいました。

江川投手3年の甲子園は静高90期準優勝した年です(植松外野手ははじめ強力打線が売りの)。3年計画の3年目、江川投手がいれば文句なしに宿願の全国制覇できたと思うと父親の転勤があと1年遅れたら、産業構造の変革がなければ・・・。

釣り落とした魚は大きい！番組のあと後味が悪くて静高の誰かと酒を飲まなければいられない心境でした。チャンスはあったのに！

は時を選ばない。一世紀後、本年チームは6月の練習再開以降、常に例年以上に精強だが、非常時における「適切な距離を保つ応援」は想定外のドラマが続いている。

皆グラウンドに近づけず、代表的市民ファンブログ「瀬名川通信」がネット裏付近の敷地外公道から取材を続け毎試合スコアを伝達。岳南球友会は「夏季



2020年非常の夏に挑む3年生12名

球友安全打合せ会（6月静岡7月関東）を医師薬剤師介護士の監修で催し、静岡では71期荻野覚元同窓会長、野島譲元監督等が戦時体験も踏まえ平常心を講話、全員が所感を述べ、ジャズシンガーマリテスの導きでソシヤルデ静かに希望の歌、離れ



大正8年スペイン風邪猛威下で夏、県優勝



秋県中部5試合合計42対1優勝驚異の新チーム

夏の代替大会は、草薙・庵原球場周辺緑地にて、関東同窓会高橋宏副会長を団長とする心の応援を展開（打球音の1分後にタブレットNET中継に写る一笑）し4戦勝ち進んだ準々静商戦（2対3惜敗）は、球友LINE通信で「波メロデー」を奏

てスクラム口パク逍遙歌と、精魂を込め無観客用適正応援を培った。 関東では71期浦田彰関東同窓会理事、77期清水雅尚氏、82期八牧浩行顧問等が皆を励まし、94期吉永陽子心療医博病院院長が「当院はクラスター多発地域に患者職員多数を抱えるが、安全な医療と静岡野球の健全応援を全うする」と決意表明。



ソシヤルデ希望の歌？（夏季球友安全打合せ会）

捲土重来を期したチームは、臥薪嘗胆の10月に、中京大中京、東海大相模、山梨学院、愛工大

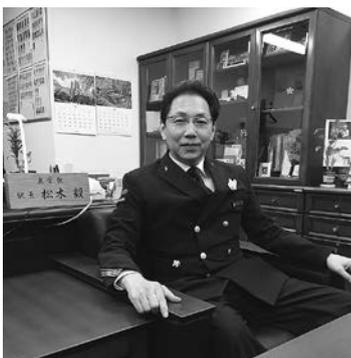
「当院はクラスタ多発地域に患者職員多数を抱えるが、安全な医療と静岡野球の健全応援を全うする」と決意表明。 夏の代替大会は、草薙・庵原球場周辺緑地にて、関東同窓会高橋宏副会長を団長とする心の応援を展開（打球音の1分後にタブレットNET中継に写る一笑）し4戦勝ち進んだ準々静商戦（2対3惜敗）は、球友LINE通信で「波メロデー」を奏

名電、松商学園等と練習試合を組み合わせ、岳南健児一千の」と球友大本営発表の賛歌と戦況を伝えた。 終戦記念日前後から、新チームが目覚ましく躍進し、観客ゼロの秋季県中部大会草薙5試合を過去半世紀間で秋最良成績の通算42得点1失点1失策の驚異的な完勝優勝を成し遂げた。190cm右本格派高須投手の快投と好素質打線に堅守がかみ合い県大会初戦大勝の後、準々決勝で青

JRを率いる2トップ

首都、東京の玄関口「東京駅」を守る

東京駅長 96期 松木 毅



昨年7月、東京駅長を拝命した時には「いよいよ東京駅長か」との思いと同時に「ようやく帰ってきた」という気持ちが交錯し、身の引き締まる思いがした。今から33年前、国鉄東京駅の一駅員として改札口で切符を切ったり、みどりの窓口で切符を売っていた職員が、東京駅長として再び東京駅に戻って来たからだ。実はJRの東京駅にはJR東日本とJR東海と言う2つの鉄道会社があり、2人の東京駅長が存在する。JR東日本は主に山手線などの在来線、そしてJR東海は東海道新幹線を運営しているが、元々は日本国有鉄道（国鉄）という同じ企業であった。それが、昭和62年の4月1日、「国鉄の分割民営化」により2つの東京駅が誕生し、私はJR東海に採用された。駅の仕事は国鉄時代に川崎駅、東京駅を経験し、2017年から

次大会兼忘年会（77期石山建一主将様が講演）申込受付中」を和やかに催し、皆々力を合わせ万世の岳南野球に泰平を拓かんと念ずるものである。

品川駅長を務めただけでなく、会社人生の殆どは人事畑を歩んできた「人事屋」であった。そのため、営業知識に関しては東京駅の誰よりも劣り、今でも肩身の狭い思いである。

東海道新幹線では7月から最新型の「N700S」を投入し、1日の新幹線の運転本数は400本を超える日もあり、東京駅は正に日本の大動脈輸送を担っている。今年3月のダイヤ改正では、のぞみを1時間に最大12本運転できるようになり、ひかり2本、こだま2本と併せ、かつてない輸送力を確保したばかり



日比谷グルメゾーン地図

である。ところが、新型コロナウイルスの感染拡大によりダイヤは縮小され、のぞみが1時間に12本走った日は、まだ数えるほどしかない。そうした中、事故もなく毎日定刻で発車する新幹線を見送っている。

JR東海では、2027年の開業を目指し、リニア中央新幹線の建設工事に当たっている。品川駅から名古屋駅までを僅か40分で結ぶという国家的なプロジェクトである。生憎、静岡県内に新駅は誕生しないものの、

コロナ危機と向き合い、そして乗り越えて

東京ステーション開発社長 102期 谷津 剛也

2018年6月末、22年振りに東京勤務となり、東京ステーション開発というJR東海のグループ会社に着任しました。東京駅という日本の玄関口で「東

静岡市の北端をリニアが通ることにより、そこには必然的に道路などのインフラが整備され、地域の活性化に繋がるはずである。そしてリニアが完成すれば、東海道新幹線は今まで以上に、より柔軟なダイヤを組むことができるようになり利用者の利便性が格段に上がることは間違いない。地元から遠く離れた東京駅で、レールの先で繋がっている故郷のこと、そしてこの国の未来を思いつつ、日々東海道新幹線を見守っている。

京駅一番街」という商業施設等を運営している会社ですが、折しもインバウンド需要の盛り上がりもあり、連日国内外から多くのお客様で賑わっていました。元号も平成から令和に変わり、新天皇陛下最初の一般参賀となった昨年のゴールデンウィークは皇居に向かう方々で東京駅も大混雑でした。

いよいよ来年は2020東京オリンピック・パラリンピックの開催で東京駅も更に盛り上がるだろう！国内外から東京を訪れるお客様に向けて如何に商売を展開していくか！等々、期待を込めて様々な準備を進めてい



八重洲北口 東京ギフトパレット

ました。まさか1年後に今のような状況になるとは夢にも思わず、、、

令和2年、年初は対岸の火事くらいに捉えていた新型コロナウィルスの影響は徐々に拡がり、東京駅一番街も2月下旬から売上が急降下、3月も低空飛行が続き、そして4月7日には緊急事態宣言が発せられ一部店舗を除いて全館臨時休業へと追い込まれ、社員も在宅勤務となりました。本当にあれよあれよという間の出来事で、会社を預かる立場として緊張感の続く日々でした。幸い大きなトラブル等もなく最悪期を乗り越え、5月末から営業を順次再開し、緊急事態宣言でストップしていた東京駅構内のリニューアル工

事も再開、2ヶ月遅れにはなりましたが、8月5日に「東京ギフトパレット」という新商業ゾーン（土産専門店）を開業させることができました。併せて、有楽町〜新橋間の高架下にも、7月9日に「日比谷グルメゾーン」というレストラン街を開業しております。JR東海⇨東海道新幹線のイメージが強いと思いますが、様々な商業施設も展開していますので、是非ご利用頂ければ幸いです！

整えつつ、客足の回復に期待する日々が続いております。コロナ前の状態に戻ることは少なくとも当面はないでしょう。社会生活様式の変化にも対応しながら、人々の心に潤いと喜びを与える存在として、東京駅一番街を復活させていきたいと思っています。

コロナ禍での営業では、何といても感染防止策の徹底が必須で、スタッフのマスク着用や手洗い消毒、検温は勿論、物理的な3密回避、お客様への啓蒙活動等々、安全・安心な環境を

GOTOキャンペーンで人の往来が増える期待と感染が再拡大する不安がありますが、何とかこの秋冬を乗り越え、来年、新様式での東京オリンピック・パラリンピックが開催されることを信じて、それを機会に東京駅の魅力を発信していきたいと思っています。

わたしと俳句

ありふれた日々には輝くもの

静岡高校3年 137期 渡辺 俊介

私が俳句というものを知ったのは、妹のお稽古の関係で小林一茶の句に出会った時でした。その時は100句覚えなければならなかったようで、家中のそこそこ句を書いた紙が貼ってあり、私の記憶にも残っています。

初めてふれた俳句は彼のものだったので、当初は俳句って素直で短い詩なんだな、くらいに思っていました。改めて見ると、一茶の句は、自然に語りかけるものだったりありのままの風景に思いを馳せてみたりと、素敵な句が多いんですね。そんな真っ直ぐなことばに見

むまさうな雪がふりはり
ふはりかな(一茶)

そんな真っ直ぐなことばに見

出されたのと、なにより十七音に自分の表現したい、伝えたいことを入れ込むことが難しいながらにできた時の達成感が大きいので、浮かんだ言葉をメモするようなことを続けていました。

昨年開かれた教育講演会では、恩田侑布子先生のお話を聞く機会が与えられました。現代でも俳句を作る人がいるとは聞いていましたが、知っているのは松尾芭蕉や小林一茶という過去の俳人たちで、初めて現代の俳人に出会うので、一体どんな人がいらっしやるのか気になっていました。講演で表現の豊かさを知り、もっと先生のお話を聞きたくなって事後質疑応答の時間に先生の方に行かせていただいたところ、折角なので俳句会へのお誘いを受けました。

当日、不安に包まれながらも勇氣を出して飛び込んでみたその会では、年齢も感性も様々な人が集って自分の句をもちより、批評や感想を交わしあう空間が広がっていて、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。自分の体験や紡ぎ出した言葉をほかの人と共有できるのって素敵だなあと改めて感じました。

夏休みにあった出張句会で、学校の友達と恩田先生と俳句を詠む会にも参加しました。その

時は実際に吟歩することを経験しました。ふと浮かんだ目の前の感動を言葉に起こせるようにするために、俳句を作ることを念頭に置いて歩いてみると自然に対する姿勢が普段と一歩違う視点で物事を観察するのもいいものだなあ、と。その時に詠んだ一つが

幼子を待ちくたびれた
ゴムプール

目に入ってきた軒下のゴムプールを見て詠んだ句です。人物ながらため息が聞こえてきそうな様子を見て浮かんできました。普段は目を配らないものにも注意を払えたい機会になりました。

この句はありがたいことに神奈川県立奈川高等学校俳句大賞に一句入選し、同大学発表の「17音の青春」にも掲載されました。ここに載っている仲間たちの句を詠むと、自分とはまた違う感性で世界を捉えている友人もいることに、世界の広さを感じます。

なんとなくはじめたこの活動も、気づけば自分から隙があればメモをするように、言葉を思い浮かべたり繋げたりするようになっていました。今年も新型コロナウイルスに



静岡高校ベランダより

より思わぬ事態が引き起こされました。まるで日常がひっくり返されたかのようで、平常なものであったという間に消えるんだな、と。先輩方の中にも様々な変更を経験された方々がいらっしやると思います。

我々学生もまた同様で、もともと受験制度変更により不安や慌ただしさの中に置かれていた所に唐突に発表された「明日から長期休暇に入ります——」。その話題を小耳に挟んでいながらも驚きを隠せませんでした。それからおよそ3ヶ月弱、家からほとんど外出することなく、人とも話さずに一人で過ごしていました。部屋にこもって勉強ばかりしているとなかなか疲れるもので、気分転換にベランダから外を眺めることもありました。すると、自然は静かです。自然は静かです。自然は静かです。

察知して、それでいて

我々には関係ない、とでも言いたげだ、等という感じも受けました。

真っ青な宇宙と知らずに
包まれる

学校が始まった後も、文化祭や仮装（無声劇）などの仰高祭をはじめとする様々な行事はもろろん、普通の授業や部活、同好会の活動をするともなかなか難しく、行き場のない苛立ちをひしひしと感じつつ、それでも大人は大人で大変だし、中学生も苦勞してるし、誰もが同じように辛さを経験していると思うとやり切れない思いでいっぱいでした。

夏を越え、高校もようやく以前の活動へと戻りつつあります。先日、ホームルームデーと称して各学級ごとにクラス遠足に行く機会にも恵まれました。私たちのクラスは、静岡の最西端にある、初島へ向かうこととなりました。行事のある日は大抵雨に見舞われる私たちも、その日はなんと曇りで1日を過ごすことができました。

熱海から船で25分ほど。曇り空の下、潮風を斬りながら進みつつ



初島行きの船にて

海鳥が戯れながら追いかけてくる中、ついた先はザ・島。

ぐるっと一周散策して海鮮丼を食べて帰ってくるという、滞在時間はかなり短いものとなってしまうのですが、海岸に迫りくる波や上方を漂うトンビなどに触れることができました。自然の中に身を置くのは、心が安らぎます。それに非日常的な世界ではそこはかとなく言葉が溢れてくるので、気持ちがあふれてくるんです。先人たちが旅をした理由が少し感じられた気になりました。

詩を描く、ではないですが、昔からふわっとした言葉、なんとなく心地よい言葉を並べるのは好きで、思いついたらメモにとっていました。しかし、俳句自体を意識して作りはじめてからは日は浅く、学業などの関係で未だ盛んに取り組んでいない部分もあり、まだまだかなり未

熟者です。それでも将来、趣味として今後の自分の人生を豊かにできそうな貴重な経験をさせていただくことができました。どこかに気ままに散策に出かけることは、今は難しいですが、いつかは俳句を心のままに詠むことができるように、日々鍛錬

同窓の絆

たかが同窓会、
されど同窓会 21回
人生いろいろ

71期 浦田 彰

コロナ禍お見舞い申し上げます。というのが近頃的时候の挨拶になりました。職場で、仕事場で、家庭で皆さんご苦労されていることでしょう。

さて、今回のテーマは、人生いろいろ。普通高校だけに静高の卒業生たちは、ほとんど農業や商業などの家業を継ぐことより、企業人・組織人としての人生を選びました。大企業であれ小企業であれ、サラリーマンです。しかし、人生はそれだけではない。個人として独立して生業を営む同窓生もいます。そんな気骨のある3人を訪ねました。

を続けている次第です。

月の船大海原に漕ぎ出だす
今日の空も青いし、今日の月も綺麗だ。

大きな自然の中に私たちは暮らしている感動を、いつも心に持っていたいと思います。

◆市川徳二さん (112期)

コロナと闘う居酒屋の大将

山手線高田馬場駅。高架線脇の20席ほどの店構え。店名は「静岡おでん・ガッツ」。これぞ居酒屋！と叫びたくなるような雰囲気。店内に巨大な富士山の壁画、静岡の地酒が並び、真っ黒に煮込んだ黒はんぺんの臭いが立ちこめます。伝え聞いて、立ち寄って一杯やる同窓生もいるといいます。



市川徳二さん

経営する市川さんは、まず訴える「紆余曲折があっても、がんばって繁盛してきたが、このコロナ騒ぎは大打撃だ。街に早稲田の学生が消え、常連客もバッタリ。売り上げは6・7割減少、国のコロナ対策資金などを目いっぱい使って持ち堪えている」と長嘆息です。

上智大学を卒業した市川さんは六本木のCM制作会社に勤めました。バブル全盛の時代、派手な夜の世界も味わった。5年たつて、社会へ出て勝負しようと独立。遊器具の販売業などに携わってから、この店を買収取ったのが8年前。そのころテレビは旅番組やグルメ番組の花盛り、メディアの地域情報が受け付けた時代でした。そこで目をつけたのが郷里の味。静岡おでん。その後、地の利もあって順調に業績を伸ばしてきました。コロナはとにかく、勤め人には解らない日常の苦労は？と訊くと「毎日毎日が勝負、すべて自分が決めなくてはならない。おでんの種を何をどれくらい仕入れたらいいのか、どんな銘柄の酒を何本ストックすればいいのか、時間給のバイト代をどう払うのか・・・日々の問屋筋や銀行や融資筋との対応、24時間勤務だ。それでも一國一城のあるじだと思えばこの道に悔

いはない。いずれ将来は2店舗3店舗と広げてゆくつもりだ。働き盛り、定年の無い市川さんは意気軒高です。

「静岡おでん ガッツ」
☎ 03-6273-8663

◆赤司明子さん (94期)
鍼灸師 50代からの転身

赤司さんは中央線武蔵小金井駅に程近いマンションの一画で「青蓮堂」という鍼灸の治療院を営む鍼灸師です。開業して診療台一つを一人で切り盛りして7年になります。

東京女子大を卒業後、ドイツ文学の研究者と結婚した赤司さんは、平凡な主婦業の毎日でしたが、一人息子の子育てに息をついた頃、子育てに賭けたエネルギーをほかのことに使いたいと考えました。そして図書館で見つけた「なりた職業シリーズ」にあった鍼灸師が中年からの仕事として、また人の役に立っている仕事として、自分でもやれるのではと一念発起、専門学校で3年間学び、鍼灸師の資格を得ました。それが50代からの第二の人生のスタートでした。

診療台を前に赤司さんは言う。「鍼灸という仕事は楽器を演奏する音楽家と似ているようです。扱う医療器具は同じでも治療技術によって患者の反応は



赤司明子さん

千差万別、ロックであったり、ワルツであったり、浪花節であったり・・・、人間の躰というものは不思議なものです。そんな人間の躰と毎日向き合っているこの仕事、静高時代には思ってもよらなかったけれど・・・。

赤司さんは、またこんなことも「なにか自分でできる仕事は？」と悩んでいた頃、平成23年の東日本大震災。これが赤司さんの背中を押しました。「これで世の中変わるんじゃないか、のんびり主婦業なんかやってられない時代がくる」と赤司さんは思ったといえます。震災後、世の中変わったかどうかは別にして、赤司さんの人生が大きく変わったのは間違いありません。

青蓮堂
☎ 090-4423-0451

◆鈴木 宏さん (91期) 古書店経営 新しい古書店とは？

本を売るだけでなく、文化も売る書店の街、神田神保町。大学の街でもあるこの街は、60年から70年にかけてヘルメットとゲバ棒とヒュプレヒコールにまみれ、日本のカルチャーランといわれました。しかし80年代にはその面影はすっかり消え、動から静へ。古書店街はマンガとコーヒーの街に変貌。「遅れてきた青年」たちは途方に暮れました。一方、後に来るサブカルチャーへの予兆も感じさせる時代だった、と1996年この神保町に古書店を開いた鈴木宏さんはいます。

早稲田の文学部を卒業した鈴木さんは将来に明確な展望もなく某大学の事務職員として就職。3年ほどした86年、大学の裏門近くに貸本屋を開業。頭でっかちな観念論から映画や音楽に浸ることで青春を燃やす若者気質、そんな時代相を感じた鈴木さんが次の展開を閃かされたのが古本屋でした。神保町交差点、古書店街の真ん中。ビルの1Fに古書店「@ワンダー」、2Fに「ブックカフェ・二十世紀」。併せて200㎡の店内に13名の店員。2Fは真ん中を大きく開けて椅子テーブルを置き、本の閲覧とコーヒーや軽食が楽しめる



鈴木 宏さん

ブックカフェ風な店内とし、街のトレンドをいち早く捉えた鈴木流経営です。鈴木さんは言う「近頃のお客さんは本だけではない。彼ら若い世代の嗜好は映画であり、マンガであり、音楽であり、スポーツや芸能情報だ。だから扱う商品もビデオから映画ポスター、芸能・イベントのパンフレットまで。サブカルチャーの総合商社みたいなものだ」。コロナ騒ぎの影響については「たしかに神保町界隈の人出は激減した。しかし本は腐らないし、仕入れに奔走する必要もない。それに最近ではインターネットによる通販が目立って多くなってきた。在るものを売って売って売っている」。本を読まなくなつた若い世代を視野に入れないながら鈴木さんはブックカフェを足掛かりに、新しい時代の古書店のあり方について思案

しています。

神保町古書店街の上得意として知られた司馬遼太郎さんはある青年に「古本は、男子一代の業ですよ、古本屋の丁稚になりなさい」と薦めたことがあります。この道の達人の商品知識の広さと深さは、ときに若い学者も及ばないということです。本好きが昂じた鈴木さんの人生は、静高生の将来へのひとつの指針になるのかもしれませんが、@ワンダー

03-3238-7415

3人3様の人生です。それぞれコロナ禍の最中で苦労しています。鍼灸師の赤司さんも2か月治療院を閉めました。3人のように組織に頼らず我が道を往く同窓生は多くはないでしょう。でも、自ら切り開いた彼ら彼女たちの人生譚を訊く機会を持つことは、同窓会を息の通った集まりにするためにも、意義のあることではないでしょうか。

同期会新時代 ネットを 地域を超えた交流

92期 日下 淳

当会報第89号(5月25日発行)に96期の方が紹介されたように、オンライン同期会が広がっているようだが、92期も7月11日にZoomを使った会合を開催した。北は岩手から南は九州、マニラまで30人あまりが参加。各地で異なる新型コロナへの反応など「それは知らなかった」という話も交換し、これまでとは一味違った交流を楽しんだ。

同期会は関東や静岡、関西で定期的に開催しているが、ネットは初めて。物理的な距離をなくすオンラインの特長を生かし、関東だけでなく全国、全世界に散らばる仲間へ声を掛けて実現した。

画面越しに一人2-3分で近況を報告し合ったが、話題の中心はやはりコロナ。地域医療の現場で活躍する同期会からは、医療用品不足を手作りで補いながら奮闘する話を聞いた。別の地方在住者からは、地域社会のつながりの温かさと共に、感染者情報などウワサが駆け巡る閉鎖的な側面も聞いた。「知らないことばかり。日本は広い」という眩しがネットの向こうから流

れてきた。

会合開催日の時点で、本人や家族が罹患した者はなかったが、職場の仲間や取引先などに感染者がいるとの報告は多かった。報道とは違う、肌感覚の感染状況を確認し合った。

社労士の友人は、揺れ動く支援策に右往左往する中小企業の現場風景を報告した。医師の友人は、「第二波は必ず到来する。油断禁物」と引き締めた。コロナで世界の風景が変わったことは皆承知しているが、友人からの具体的事例は新鮮だった。

もちろん、初孫の誕生など家族の話でも盛り上がった。「子



92期オンライン同期会

関東同窓会費納入の お願い

関東同窓会会員の会費(年間3千円)で運営されており、同窓会費の集まりは多いとは言えません。同窓生、同期生に声を掛け合い、ご協力をお願いいたします。同封されている郵便局振込用紙をご使用ください。

供と孫は海外。コロナで会えない」など、国際化を実感させる話も多かった。

静岡の課題や、コロナ禍後を見据えたインフラのあり方など、マジメな議論も。その道の専門家から教示を受け、耳学問を得た。

92期は1976年3月卒業で、二三年前に皆還暦を過ぎた。現役で最前線に立つ者、仕事の比重を減らしながらワーク・ライフ・バランスの調整を図る者、地域活動やボランティア活動を広げる者など様々だ。いわば十人十色の時期なので、同期が集まれば仕事、生活、趣味など多様な話に花が咲く。そこに今回、地域の違いも話題に加わった。

参加者からは「ネット会合の恩恵を実感した」、「これからはネットとリアルを使い分けて」などの声が上がリ、「同期会20」ともいふべき新時代入りを確認し合った。

実際に会合を開催して気付いた運営上のノウハウもある。オンライン会合は終電などの制約がなく、際限なくなるリスクがある。「二時間以内」などと設定するのが良いかも知れない。技術や安全面の問題は、ITに強い仲間が幹事にいると心強い。参考に記載させていただきたい。

お茶の水「シェイクスピア・ギャラリー」

92期 清水あつし

昨年1月にお茶の水の「山の上ホテル」近く、東京のカルチャータンと言われる地に、画廊兼古書店「シェイクスピア・ギャラリー」を開店した。画廊という業種には一般的には2種類あり、貸す画廊と売る画廊であるが、当方では両方の路線で営業している。古書店として、版画や浮世絵、挿絵本など美術関係の販売も行っている。

店の名前は、パリのセーヌ左岸、1920年代からパリの文化の拠点と言われた「シェイクスピア&カンパニー書店」を指す、という事からつけた。神保町という本の町への貢献も、私は昔から考えていた。

オープニング記念では岩波書店と組んで、長谷部恭男早大教授の岩波文庫『日本国憲法』



の発刊記念講演会と銘打って、300人近い人を集めた。また今春にはスタンダップ・コメディとして今売り出し中の柳川朔くん（NHKの米大統領選特番に出演）の、ライブ公演をやった。と「何でもあり」の奮闘である。

画廊に来てくれる仲間で、クラシック音楽好き、オペラ関係者も多いので「ギャラリー音楽友の会」を立ち上げた。コンサートの演目を決めて、「友の会」の仲間と一緒に音楽鑑賞して終了後に軽く一杯やろうという趣旨の会だが、常連が十数人いて盛況だ。

画廊兼古書店を私が始めると聞いて、「両方とも絶滅危惧種なのに」と心配してくれる人が周囲に多数いた。本が売れないのはこの30年一貫して右肩下がりが、最近一段と拍車がかかって、書店の閉店が相次いでいる。画廊の方も、かつて3兆円あった美術市場は今や2千億円規模とかで、絵はコロナの昨今の「不要不急」の代名詞のようなものだ。

所詮儲からないなら、と私のコレクションである、江戸城古写真の展覧会も行った。今年3月の「内田九一

の江戸城新発見写真」展である。コロナにぶつかリ、展覧会は中断を余儀なくされたりしたが、新聞各紙やテレビニュースにも取り上げられ、ネットニュースのアクセス数でも一時期ずっと上位を占めるなど、大きく注目された。多くの人が画廊に来てくれたは良いが、当方は感染対策で結構はらはらした。

この時も近隣の明治大学の大使館で講演会イベントを開催する筈だったが、大学が緊急で閉鎖になり、91期の鈴木宏先輩に頼み込んで古書店「@ワンダー」の2階カフェを借りて何とか行いう事が出来た。私がこの業界なり地域に入れたのも、全てこの鈴木先輩の物心両面の支援が大きい。また開業以来の顧客も実は92期などの同窓生に多く訪問していただいている。

この「駿河台」という地名の由来は富士山が眺望できる、という説と、また徳川家康の江戸入府の際に、駿河から連れてきた家臣団の住宅地だったから、という両説があるが、名の通り静岡に縁の深い土地である。関東同窓会の事務所が偶然にも近くに越してきたので至近である。是非お立ち寄りいただきたいのは山々だが、当画廊は毎日やっている訳ではないので、HPなどで、展覧会や時間を確認

編集後記

▼今号も多彩な原稿と写真が寄せられました。コロナ禍の鬱陶しさを吹き飛ばす力作ばかりで、静中・静高同窓生の「底力」を実感しました。

▼本部同窓会でお世話になっている三浦俊一先生とNHK「エール」で話題のプリマドンナ三浦環さんとの縁も興味深いストーリー。静岡の旧公会堂で蝶々夫人の公演を聴いたシニア世代も多いようです。リモート同窓会のほか、リモート演奏会も楽しい企画。ウイズコロナ時代の新たな挑戦として注目です。

▼「わたしと俳句」は3年前に本会報に掲載された俳人・恩田侑布子さん（91期）のエッセイをきっかけに、毎号バトンが繋がれ、今号には現役静高生が登場。瑞々しさに感動しました。

画廊兼古書店
「シェイクスピア・ギャラリー」
千代田区神田駿河台1-5-6-1
001 コト1駿河台
☎090-8580-3160



◆年会費（維持費）の振込をお忘れになっていませんか？振込用紙を毎号同封させていただいております。年度末（翌年3月31日）までよろしくお願ひします。

◆年会費は、ATM・窓口支払ではなく、オンラインでも納入可能ですので、ぜひご利用ください。

ゆうちょ銀行間

002201919969

他の金融機関から

〇二九（ゼロニキュウ）店

当座 0009969（7桁）

◆会報が二通届いている方（別住所）が散見されます。特に勤務先は退職や異動を機に、宛先不明となってしまうケースが発生しています。お差支えがなければご自宅のみの名簿登録をお願いします。

◆ご夫婦でそれぞれに会報が届いているご家庭で、一通におまとめしたい場合はご連絡ください（振込用紙は一枚になります）。

◆行政による市町村名・地番変更になった地域は、一定の郵便局サポート期間を過ぎると、旧番地には郵便物が届かなくなり、転送期間中に、新住所への変更をお願いします。

公式ホームページの住所変更連絡フォームをご利用ください。住所変更ではない場合は、旧住所欄の入力は不要です。コメント欄にメッセージを入力していただければ、対応させていただきます。新規登録も歓迎いたします。



*パソコン版メニューが便利です。

◆各期幹事の追加等変更、その他、ご意見ご感想はメールでも受け付けております。

広告掲載のご案内

1コマ（縦横比＝名刺相当）¥10,000（年間¥20,000・税込み）を、12月号掲載確認後、一括で広告主様にご請求させていただきます。新規広告をご希望の方は広告データを事務局までお送りください（ジャンル不問）。会運営の収入源として大変助かっております。

◎会員現況（発送数）

89号（前号） 三、九九五名
90号（今号） 三、八一九名
令和2年10月末現在

以下のメールアドレスまで
（卒業期の記述をお忘れなく）

shizukokanto@gmail.com

<事務局>
事務所（新聞）ほか役員数名で共有しています



ayami-takada.com



ayami takada architects
代表・一級建築士 高田 彩実 (120期)

建築・ランドスケープ・インテリアの企画・設計及び監理 / 都市開発・地域開発・都市計画に関する企画・調査・設計・監理 / 家具・工業デザインの企画・設計・販売 / 都市及び建築に関する教育・講演 / 出版

「何宗ですか?」「ハイ、皆之宗(みなものしゅう)です!」

〜いざという時、頼りになるかかりつけのお寺〜

普 門 庵

臨済宗大徳寺派 住職 見城宗忠 (90期)

206-0801 東京都稲城市大丸 857
Tel : 042-378-1707 Fax:042-379-8647
URL : http://www.fumon-an.jp



個人のお客様も法人のお客様も！
各社の保険を扱うことができるため、一人一人に合わせた保険設計をさせて頂いております。保険のセカンドオピニオンとしてご利用ください。法人のお客様向けには、事業保障・相続・承継対策として、プロのファイナンシャルプランナーが幅広くサポートをさせていただきます。

ファイナンシャル・ジャパン株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 7-23-1 第3TOCビル10F

ファイナンシャルプランナー (2017年MDRT会員)

青山亮介 (119期)

090-9931-0929 お気軽にご相談ください！



お一人様でも団体様でも！
カラオケバー BAR K

〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿1丁目12-7 三恵31ビル7階 C号室
TEL 03-5423-2287

オーナー 青山亮介 (119期)

090-9931-0929



非破壊検査のトータルサプライヤー

日本マテック株式会社 NIHON MATECH CORPORATION

代表取締役社長 松島 勤 (84期)

東京本社：東京都新宿区若葉 1-21-17 3F
TEL: (03) 3221-7531 FAX: (03) 3221-7240 (〒160-0011)
大阪支社：兵庫県高砂市春日野町4-35 グランメーブル435 1F
TEL: (079) 447-1561 FAX: (079) 447-1556 (〒676-0814)
<http://www.matech.co.jp/>



株式会社 スマートグラフィックス

代表取締役社長 福田浩志 (97期)

〒171-0052 東京都豊島区南長崎 3-34-13
TEL. 03-3953-1184 FAX. 03-3953-1194
〒335-0036 埼玉県戸田市早瀬 2-22-10
TEL. 048-422-3660 FAX. 048-422-3661

smagros

不動産のことならお任せください
最初から最後まで私自身が動きます

(株)自由が丘不動産ソリューション

代表取締役 曾根 正裕 (95期)

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢7-7-21-013
TEL 03-6809-7803 FAX 03-6809-7903



高きを仰ぎて心を繋ぐ

さあご一緒に時空を超えて
吾等が聖地を歩みましょう

岳南球友会

会長：望月一男 (70期 野球部)
HP「岳南球友会」
連絡窓口：080-5580-2958 (94期 松永)
メール：k30.ska-1213m@ezweb.ne.jp



静岡のおでんとお酒と黒はんぺん



静岡おでんガッツ

〒169-0075
東京都新宿区高田馬場 2-19-8
阿部ビル 1階
03-6273-8663
<http://shizukaoden-gutsu.red>

代表：市川徳二 (112期)

幼児教育に新しい風を



こぐま会 幼児教育実践研究所

代表取締役 久野泰可 (83期) 取締役 久野淑子 (83期)

本部 東京都渋谷区恵比寿西1-20-6 K&S恵比寿ビル7F
TEL 03-3463-3815

Lighting For Your Safety

Koito

<http://www.koito.co.jp>

安全を光に託して

人とクルマの安全は私たちの願いです。
グローバルサプライヤー 小糸製作所

【本社】東京都港区高輪四丁目8番3号 TEL:03-3443-7111
【工場】日本、USA、UK、チェコ、タイ、インド、中国、メキシコ 他
小糸静高会 会長 大嶽隆司(74期)

鈴 与 株 式 会 社

代表取締役会長 鈴木 与 平 (76期)
代表取締役社長 鈴木 健一郎 (110期)

〒424-8703 静岡市清水区入船町11-1
TEL 054 (354) 3015 (秘書室)
京浜支店 〒140-0013 東京都品川区南大井6-22-7
TEL 03 (6404) 2100

日本レーベル印刷株式会社

代表取締役会長 岩井平一郎 (57期)

本 社 〒422-8004 静岡市駿河区国吉田3丁目1番1号
TEL 054 (262) 1111(代)
東京支社 〒104-0031 中央区京橋1-1-6 越前屋ビル8F
TEL 03 (3272) 4651 (代)

建築・不動産活用、アート活動などのご相談はどうぞ ArchitectS Office & Gallery

一級建築士 石川雅英 (94期)

若いクリエイターの支援活動をしています

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 16-16
T 03 - 5 8 4 7 - 7 7 8 5
F 03 - 5 8 4 7 - 7 7 8 8
architectsoffice@cotton.ocn.ne.jp
www.rvstone.com

伊豆の旬 
www.yanmo.co.jp

小林秀男 (97期)

伊豆の旬 
＜南青山＞ 東京都港区南青山5-5-25 T-PlaceビルB1
TEL: 03-5466-0636 (日曜日のみ休)
＜丸の内＞ 東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビルB1
TEL: 03-5224-3322 (定休日なし)
仕出し厨房 
＜大手町＞ 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビルB1
TEL: 03-3278-7272 (土日祝定休)

同窓会で人の輪を!!

野方重人法律事務所

弁護士 野方重人 (77期)

〒101-0045 千代田区神田鍛冶町3-7-3
敷下ビル6F
(TEL) 03 (3251) 2348
(FAX) 03 (3257) 0820

24時間! ニュースを通じて「世界平和」に貢献する

Record China

日本最大の中華圏情報サイト(日本語)

Record Japan

中華圏最大の日本情報サイト(中国語)

相談役・主筆 八牧浩行 (82期)

本社 東京都港区新橋2-20-15 新橋駅前ビル1号館7F
TEL 03-3573-7501(代) FAX 03-3573-7503

相続税・法人税・所得税などのご相談はどうぞ!

鳥巢修税理士事務所

税理士 鳥巢 修 (89期)
OSAMU TOSU

〒167-0041 東京都杉並区善福寺1-30-17
TEL 03(3396)3858 FAX 03(3396)3848
E-mail: tosu@mtj.biglobe.ne.jp

* 昼 2 時より夜11時まで診療 *

(医) 名泉会タカラ歯科診療所

代表  齋科名雄 (87期)

東横線 中目黒下車 徒歩5分
TEL 0120-376-480
FAX 03-3710-8847
〒153-0051 目黒区上目黒 2-18-13

mail:jimbo20seiki@gmail.com 

2階) ブックカフェ二十世紀

- アメコミ・海外コミック (MARVEL&DC他原書リーフ/TPB/ハードカバー、日本語版)
- 歴史・民俗・風俗・江戸/東京・食べ物
- 演劇・芸能/TV・音楽・落語・盛り場
- 絵本・児童書・漫画・雑誌・サブカル
- 思想・哲学・人文
- 明治文学・評論

SF、ミステリ、幻想と怪奇 (SF、ミステリ、推理小説 幻想・怪奇小説、ホラー & ファンタジー、評論他)

映画グッズ・関連品 (ポスター・パンフ・プレス・チラシ・写真他グッズ・書籍)

文学/人文系 (文学・評論他、岩波・ちくま・講談社学術文庫他)

昭和の芸能、スポーツ関連 (野球・相撲・プロレス)

その他サブカルチャー、書籍百般

 **@ワンダー (1階)**
mail: wonder@atwonder.co.jp

書籍 家財 雑貨等 **@ワンダー**
フリーダイヤル **0120-154-727**
お気軽に御相談下さい! 店主 鈴木宏 (91期)

101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-5-4 開拓社ビル 1・2F